

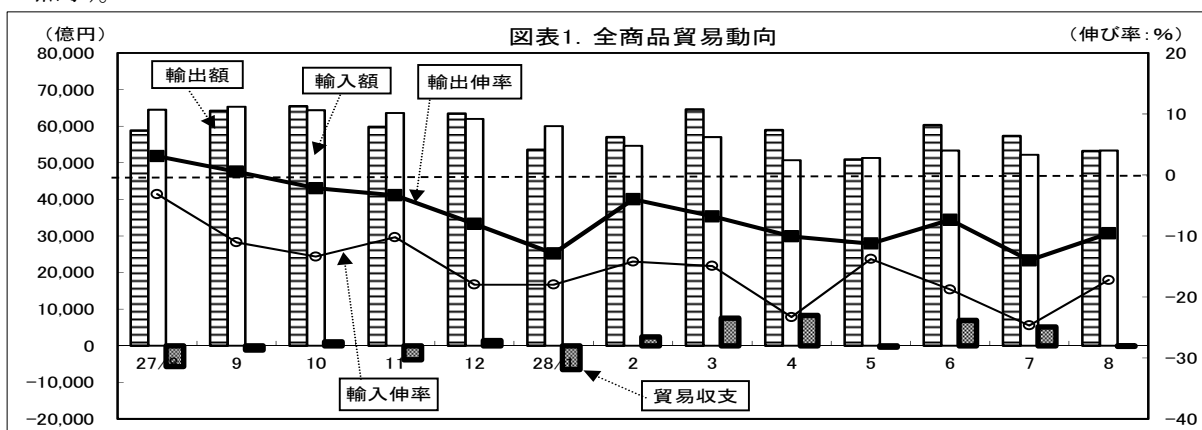
「最近の機械貿易動向(8月)～機械輸出伸び率11ヶ月連続マイナス～」

日本機械輸出組合 2016.10.20.

平成28年8月の機械輸出額は3兆4,100億円、対前年同月比8.4%減と、11ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①韓国・台湾向けを除いた5地域向けで伸び率がマイナスとなったこと、②自動車、産業機械、電子デバイス等主要な21輸出業種がすべてマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が5.3%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は3.3%減と3ヶ月ぶりにマイナスとなった。平成28年9月の為替・営業日要因は4.2%の減少寄与要因となっているが、10月7日発表の貿易統計速報によれば9月上中旬の全商品輸出は16.0%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は11ヶ月連続、輸入は20ヶ月連続でマイナス～

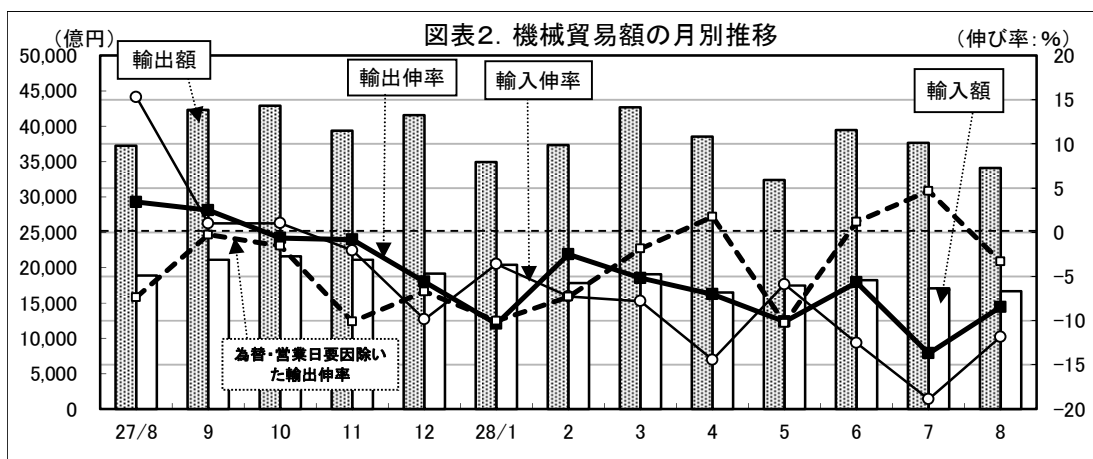
- 平成28年8月の全商品輸出額は**5兆3,166億円**、前年同月比(以下同じ)**9.6%減**と11ヶ月連続でマイナスとなった(7月14.0%減)。これは、全輸出額の約12%を占める鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(17.0%減)、22%の輸送用機器(8.4%減)、19%の電気機器(8.5%減)等が大きくマイナスとなったためである。
- 輸入額は**5兆3,358億円**、**17.2%減**と20ヶ月連続でマイナスとなった(7月24.7%減)。これは、全輸入額の約19%を占める原粗油等鉱物性燃料(34.8%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、15%を占める電気機器(10.1%減)、医薬品等化学製品(11.7%減)、一般機械(14.3%減)等が大きく減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、192億円の赤字となった。(7月は5,136億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は11ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約64%を占める8月の機械輸出額は**3兆4,100億円**、**8.4%減**と11ヶ月連続でマイナスとなり(7月13.7%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年8月)と比べると**75.6%**となって、前月に比べて0.8ポイント改善した(7月74.8%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的な伸び率は3.3%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約31%を占める機械輸入額は、**1兆6,666億円**、**11.8%減**と10か月連続でマイナスとなった(7月18.9%減)。ただし、リーマンショック前(2008年8月)の水準に比べ、7.6%増となっている。

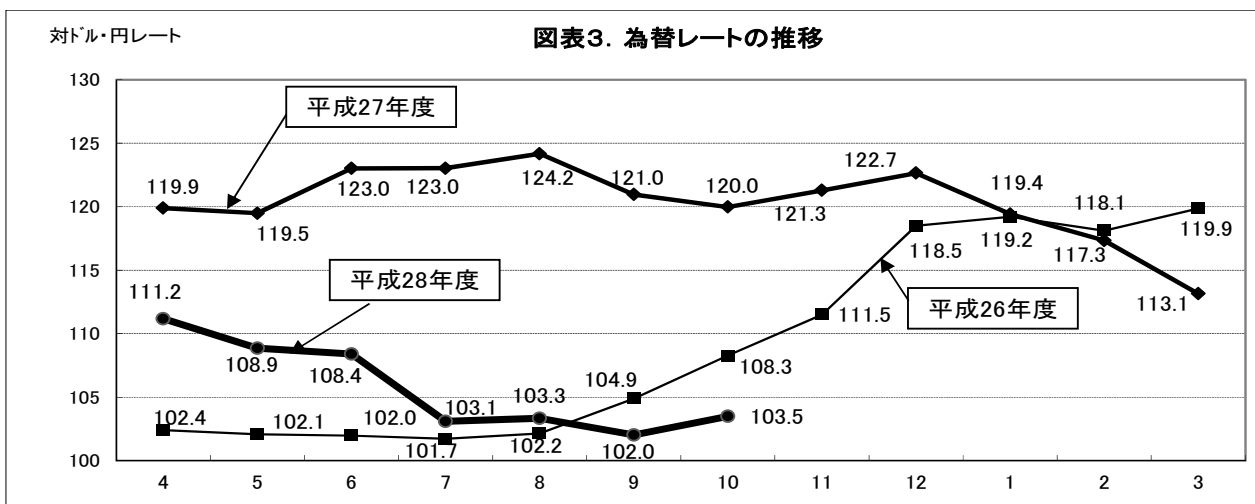


(2) 為替・営業日動向～8月は5.3%の減少要因、9月は約4.2%の減少要因～

1) 8月は1ドル=103.3円となり、前年に比べ16.8%の円高となった。また、対ユーロは114.6円と前年に対して16.0%の円高となり、合わせて約9.6%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、4.8%の増加要因となり、合計で約5.3%の減少要因となる。8月の輸出額は8.4%減であったことから、実質的伸び率は3.3%減と3ヶ月ぶりにマイナスとなった(7月4.7%増)。

2) 9月は1ドル=102.0円で前年比15.7%の円高、対ユーロでは114.6円で前年比15.9%の円高となり、合わせて約9.0%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で約4.2%の減少要因となる。

3) 10月は、対ドルが10月19日17:00時点の103.5円とすれば、前年に比べて13.8%の円高、また、対ユーロは113.8円で15.8%の円高となり、合わせると約8.0%の為替減少要因となる。営業日は前年より1日少ないため、4.8%の減少要因となり、合計で約12.4%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾向けを除き、5地域向けで伸び率がマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の23.6%を占める最大輸出先の北米向けでは、全体の49%を占める自動車(9.3%減)をはじめ、産業機械(20.9%減)や航空機部品(17.0%減)等が減少して13.5%減となった。②21.7%を占める中国向けでは、電子デバイス(13.8%減)、軽電気機械(9.6%減)、光学機械(21.4%減)等が大きくマイナスとなって9.3%減となり、③15.5%のASEAN・南アジア向けは、マレーシア(17.6%減)、インドネシア(14.5%減)等が二桁のマイナスとなり、業種では、全体の25%を占める自動車(7.0%減)をはじめ、20%の産業機械(10.9%減)、電子デバイス(8.7%減)等がマイナスとなって7.7%減となった。④11.9%を占めるEU向けは、36%を占める自動車(10.1%増)がプラスとなったものの、産業機械(9.7%減)、理化学用機器等軽機械(6.6%減)等がマイナスとなって、0.9%減となり、⑤11.2%を占める韓国・台湾向けは19%を占める電子デバイス(12.6%減)等がマイナスとなったものの、半導体製造装置等産業機械(29.3%増)、自動車(8.1%増)が増加して3.1%増となった。⑥16.1%のその他地域向けでは、ロシア東欧等(21.5%増)がプラスとなったものの、アフリカ(21.4%減)、中南米(18.3%減)、中近東(13.5%減)向け等が大きくマイナスとなり、機種では、61%を占める自動車(12.4%減)、船舶(24.6%減)等がマイナスとなって12.1%減となった。

2) また、リーマンショック前の2008年8月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジアが90%台、北米、韓国・台湾、中国向けが80%台、EU、その他地域向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/6			2016/7			2016/8			対08年 8月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,461	▲ 5.7	100.0	37,642	▲ 13.7	100.0	34,100	▲ 8.4	100.0	0.76
北米	10,180	▲ 5.9	25.8	9,831	▲ 12.4	26.1	8,042	▲ 13.5	23.6	0.87
中国	7,826	▲ 11.6	19.8	7,907	▲ 13.2	21.0	7,393	▲ 9.3	21.7	0.84
ASEAN・南アジア	5,903	▲ 5.6	15.0	5,664	▲ 10.3	15.0	5,298	▲ 7.7	15.5	0.90
EU	4,581	▲ 1.6	11.6	4,573	▲ 10.1	12.1	4,064	▲ 0.9	11.9	0.57
韓国・台湾	3,837	▲ 10.6	9.7	3,847	▲ 8.2	10.2	3,829	▲ 3.1	11.2	0.86
その他	7,134	▲ 2.6	18.1	5,821	▲ 24.3	15.5	5,474	▲ 12.1	16.1	0.57

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/5		2016/6		2016/7		2016/8	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,620	▲ 9.8	1,773	▲ 14.2	1,919	▲ 4.2	1,850	7.4
台湾	1,917	▲ 2.8	2,063	▲ 7.1	1,929	▲ 11.9	1,979	▲ 0.7
ASEAN・南アジア								
タイ	1,208	▲ 14.1	1,492	▲ 7.1	1,455	▲ 18.0	1,367	▲ 8.5
シンガポール	868	▲ 1.8	1,072	▲ 0.1	870	▲ 1.8	874	▲ 4.7
インドネシア	582	▲ 7.6	513	▲ 18.9	627	▲ 10.6	573	▲ 14.5
マレーシア	546	▲ 13.1	627	▲ 14.4	654	▲ 15.8	553	▲ 17.6
フィリピン	567	▲ 8.6	650	▲ 1.3	652	5.1	625	9.4
ベトナム	513	▲ 16.9	733	9.4	629	▲ 6.8	576	▲ 8.8
インド	317	▲ 10.0	451	11.1	418	▲ 0.5	421	13.9
パキスタン	118	6.6	137	8.8	124	▲ 9.4	127	▲ 3.5
その他地域								
中南米	1,638	▲ 14.8	2,467	20.5	1,548	▲ 35.2	1,609	▲ 18.3
中近東	1,450	▲ 5.4	1,792	▲ 18.1	1,471	▲ 32.3	1,574	▲ 13.5
大洋州	937	▲ 13.4	1,264	▲ 1.4	1,298	▲ 21.1	1,021	▲ 10.2
ロシア東欧等	730	4.9	1,070	36.8	1,003	18.7	820	21.5
アフリカ	455	▲ 17.4	469	▲ 29.8	521	▲ 20.0	465	▲ 21.4

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～2ヶ月連続で21業種すべてがマイナス。うち二桁減が19業種～

- 1)業種別では、2ヶ月連続で、全21業種すべてがマイナスとなった。全体の約34%を占める自動車(7.0%減)、19%の産業機械(2.3%減)、9%の電子デバイス(12.3%減)等21の主要業種すべてがマイナスとなり、二桁減の業種も13業種にのぼった。この結果、機械全体で8.4%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、軽機械、医療機械、鉄道車両の4業種のみで前月より1業種増加し、他方、電子計算機が30%台、民生用電子機械、産業車両が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2016/6			シェア	2016/7			シェア	2016/8			対08/8比
	金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア		金額	伸び率	シェア	
自動車	14,108	▲ 5.9	35.8	自動車	13,820	▲ 11.2	36.7	自動車	11,534	▲ 7.0	33.8	0.79
産業機械	6,843	▲ 4.0	17.3	産業機械	6,885	▲ 5.8	18.3	産業機械	6,395	▲ 2.3	18.8	0.86
電子デバイス	2,931	▲ 11.4	7.4	電子デバイス	3,010	▲ 11.5	8.0	電子デバイス	2,948	▲ 12.3	8.6	0.68
軽電気機械	1,954	▲ 6.2	5.0	軽電気機械	1,998	▲ 11.5	5.3	軽電気機械	1,861	▲ 7.3	5.5	0.76
重電気機械	1,860	▲ 7.0	4.7	重電気機械	1,842	▲ 12.3	4.9	重電気機械	1,682	▲ 9.5	4.9	0.82
軽機械	1,676	1.3	4.2	軽機械	1,546	▲ 10.8	4.1	軽機械	1,415	▲ 7.3	4.1	1.08
船舶	1,530	18.0	3.9	民生用電子機械	1,371	▲ 22.2	3.6	民生用電子機械	1,336	▲ 11.8	3.9	0.41
民生用電子機械	1,352	▲ 14.6	3.4	光学機械	1,044	▲ 23.9	2.8	光学機械	1,084	▲ 17.3	3.2	0.81
光学機械	1,071	▲ 21.2	2.7	船舶	952	▲ 45.8	2.5	船舶	988	▲ 10.6	2.9	0.63
建設機械	1,051	▲ 1.8	2.7	建設機械	840	▲ 11.0	2.2	建設機械	771	▲ 6.5	2.3	0.54
航空機部品	1,011	16.5	2.6	工作機械	702	▲ 27.1	1.9	航空機部品	626	▲ 12.1	1.8	1.73
工作機械	693	▲ 29.9	1.8	航空機部品	667	▲ 21.7	1.8	工作機械	550	▲ 26.6	1.6	0.72
通信機械	561	▲ 5.4	1.4	通信機械	442	▲ 24.4	1.2	通信機械	536	▲ 8.5	1.6	0.64
医療機械	417	▲ 7.1	1.1	電子計算機	406	▲ 12.4	1.1	電子計算機	391	▲ 12.9	1.1	0.39
電子計算機	412	▲ 10.7	1.0	医療機械	401	▲ 10.4	1.1	医療機械	387	▲ 5.4	1.1	1.01
ベアリング	377	▲ 12.6	1.0	ベアリング	372	▲ 17.1	1.0	ベアリング	319	▲ 14.7	0.9	0.91
陸用内燃機関	337	▲ 0.8	0.9	陸用内燃機関	331	▲ 15.8	0.9	陸用内燃機関	295	▲ 10.3	0.9	0.80
農業機械	199	18.5	0.5	繊維機械	177	▲ 6.0	0.5	繊維機械	149	▲ 15.0	0.4	0.92
繊維機械	175	▲ 0.9	0.4	農業機械	143	▲ 29.0	0.4	農業機械	133	▲ 36.0	0.4	0.71
産業車両	121	▲ 7.2	0.3	産業車両	106	▲ 19.1	0.3	産業車両	98	▲ 10.6	0.3	0.46
鉄道車両	111	▲ 1.1	0.3	鉄道車両	92	▲ 19.2	0.2	鉄道車両	90	▲ 21.3	0.3	1.01
21業種合計	38,789		98.3	21業種合計	37,146		98.7	21業種合計	33,588		98.5	0.75

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～韓国・台湾向け半導体製造装置が大幅増、発電機等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種は 2 機種(前月より 1 機種増)で、①韓国向け、台湾向けとも大きく伸びた半導体製造装置(29.7%増)、②中国向け通信機械部分品(10.3%増)であった。
2)一方、発電機(43.5%減)をはじめ、マイナス伸び率上位 10 機種すべてが 20%以上の大幅な減少であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/6			2016/7			2016/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
農業機械	199	18.5	半導体製造装置	1,743	25.3	半導体製造装置	1,732	29.7
船舶	1,530	18.0	機種合計	1,743	* 4.6%	通信機械部分品	275	10.3
産業用ロボット	157	17.2				機種合計	2,007	* 5.9%
航空機部品	1,011	16.5						
半導体製造装置	1,621	12.6						
機種合計	4,518	* 11.5%						

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器
理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター
その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/6			2016/7			2016/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	693	▲ 29.9	船舶	952	▲ 45.8	発電機	54	▲ 43.5
その他の光学機器	884	▲ 23.2	デジカメ・ビデオ	300	▲ 35.4	受信変換その他送受信機器	104	▲ 37.4
デジカメ・ビデオ	335	▲ 22.1	通信機械部分品	168	▲ 33.2	農業機械	133	▲ 36.0
金属加工機械	224	▲ 20.7	原動力機械	331	▲ 31.2	磁気カード・ディスク等	122	▲ 35.4
磁気カード・ディスク等	135	▲ 20.6	農業機械	143	▲ 29.0	TV	84	▲ 28.2
貨物自動車	794	▲ 19.9	受信変換その他送受信機器	119	▲ 27.6	貨物自動車	617	▲ 27.6
電動機	133	▲ 17.9	磁気カード・ディスク等	137	▲ 27.3	工作機械	550	▲ 26.6
写真機の部分品・附属品	121	▲ 15.4	工作機械	702	▲ 27.1	印刷・製本機械	740	▲ 25.2
原動力機械	363	▲ 14.9	写真機の部分品・附属品	108	▲ 25.9	写真機の部分品・附属品	99	▲ 23.6
ベアリング	377	▲ 12.6	その他の光学機器	865	▲ 24.8	鉄道車両	90	▲ 21.3
機種合計	4,059	* 10.3%	機種合計	3,825	* 10.2%	機種合計	2,593	* 7.6%

(6)機械輸入動向～電子デバイス、電子計算機等が大きく減少～

- 1)8月の機械輸入伸び率は11.8%減と10ヶ月連続のマイナスとなった。電子デバイス(13.2%減)、電子計算機(24.7%減)をはじめ、上位12機種のうち11機種がマイナスとなった(7月も11機種がマイナス)。
2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、医療機械、白物家電、配電機器、受信変換・その他送受信、時計、TVの9機種となっている。
3)地域別機械輸入額は、全体の37%を占める中国(16.6%減)、北米(4.4%減)、ASEAN・南アジア(8.5%減)、EU(5.6%減)、韓国・台湾(14.9%減)、その他地域(18.8%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2016/6				2016/7				2016/8			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,056	▲ 18.1	11.3	電子デバイス	2,020	▲ 23.1	11.8	電子デバイス	2,001	▲ 13.2	12.0
携帯電話	1,605	▲ 33.2	8.8	電子計算機	1,506	▲ 23.5	8.8	電子計算機	1,420	▲ 24.7	8.5
電子計算機	1,548	▲ 20.7	8.5	航空機・部品等	1,124	▲ 6.6	6.6	自動車部品	1,021	▲ 1.4	6.1
自動車部品	1,052	▲ 7.9	5.8	乗用車	1,013	20.6	5.9	航空機・部品等	997	▲ 10.2	6.0
航空機・部品等	967	▲ 27.7	5.3	自動車部品	994	▲ 16.0	5.8	乗用車	984	▲ 8.2	5.9
乗用車	907	▲ 4.9	5.0	携帯電話	937	▲ 22.8	5.5	携帯電話	683	▲ 18.3	4.1
白物家電	812	▲ 16.1	4.5	白物家電	714	▲ 11.2	4.2	医療機械	637	▲ 2.7	3.8
医療機械	624	▲ 0.2	3.4	医療機械	581	▲ 10.2	3.4	白物家電	622	▲ 0.1	3.7
配電機器	497	▲ 14.6	2.7	配電機器	457	▲ 21.4	2.7	配電機器	504	▲ 4.4	3.0
受信変換その他送受信	447	▲ 22.0	2.5	受信変換その他送受信	435	▲ 26.4	2.6	受信変換その他送受信	483	▲ 6.9	2.9
その他の配電制御装置	352	▲ 14.1	1.9	その他の配電制御装置	351	▲ 14.8	2.1	その他の配電制御装置	386	▲ 3.7	2.3
風水力機械	347	▲ 10.5	1.9	コンデンサー等部分品	311	▲ 21.4	1.8	コンデンサー等部分品	332	▲ 11.6	2.0
12機種合計	11,214		61.5	12機種合計	10,443		61.2	12機種合計	10,070		60.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械
・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等